

## 7 本市の公共交通軸

多極ネットワーク型コンパクトシティを形成するためには、居住誘導区域及び都市機能誘導区域の設定に加え、市民等の都市機能への交通アクセスを確保する必要があります。

特に本市では、掛川区域の都市機能誘導区域を核とした都市構造を形成しており、地域拠点であっても病院等については、掛川区域での施設を利用する必要があります。また、地域生活拠点区域では、基幹的・広域的な施設や各地域に不足する機能へのアクセスを確保する必要があり、本市において、利便性が確保された公共交通軸を確保することは、多くの市民にとって生活しやすい都市づくりに向けて非常に重要な要素となります。

一方で、便利でかつ持続可能な公共交通を構築するためには、行政や交通事業者のみならず、市民等が参画しながら効率的に公共交通体系を維持していく仕組みが必要となります。

こうした背景を踏まえ、本市では、平成33年度を目標年次とした掛川市地域公共交通網形成計画が策定され、現在の公共交通体系を踏まえながら、以下の将来の公共交通体系が示されています。掛川市立地適正化計画においても、この計画と一体となって、多極ネットワーク型コンパクトシティを形成し、「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」に向けた取り組みを推進していきます。

### 【掛川市地域公共交通網形成計画における将来の公共交通体系】

#### ○広域幹線軸（鉄道）

- ・ 周辺市町と連絡し東西の鉄道網を形成しているJR東海道本線・新幹線と、掛川駅から森町方面に伸び、地域内の骨格軸を形成している天竜浜名湖鉄道を位置づけます。

#### ○都市・地域間幹線軸（バス）

- ・ 掛川区域・大東区域・大須賀区域の地域拠点間および周辺市町との都市間をネットワークするバス路線を位置づけます。

#### ○市街地循環軸（バス）

- ・ 本市の玄関口である都市拠点を循環し、商業・医療・福祉等の都市施設を連絡する自主運行バス市街地循環線（北回り・南回り）を位置づけます。

#### ○幹線軸（バス）

- ・ 主に市北部の各地域と掛川駅・中心市街地をネットワークするバス路線を位置づけます。

#### ○公共交通協働エリア

- ・ 地域・交通事業者・市などが協働し、地域が運営する自家用有償運送やデマンド型乗合タクシーなど、実情に即した公共交通の導入や運営、利用促進を行うエリアを位置づけます。（公共交通協働エリアは、中心部を除く人口が分布している地域で、人々の移動の傾向が概ね同様である地域をひと括りとしています。）

## 7 本市の公共交通軸

### ○乗り継ぎ駅やバス停

- ・幹線となる鉄道やバス路線と地域の公共交通がスムーズに乗り継ぐことができる駅やバス停を位置づけます。

### ■掛川市地域公共交通網形成計画における公共交通の軸、公共交通協働エリア

及び乗り継ぎ駅やバス停の配置

